



福山市議会議員 大田ゆうすけ

平成28年～令和2年

活動報告



私が移設した「歩兵第四十一連隊跡」記念碑前にて



NPO 法人ドットジェイピーの大学生と議員の交流会



八天堂の森光社長を囲む商工会議所青年部 (YEG) メンバー



元軍人の堀江さん (102) に著書「永遠の四一」を進呈



コラム「祐介の目」100回記念集を発行



選挙中は自転車で街宣活動!



備後護国神社にて息子と小林代議士と



坂本直子さんとムンフザヤ選手 (モンゴル)



福山の新たな名産「山野峡ワイン」を充填中!



エフピコアリーナふくやま内部



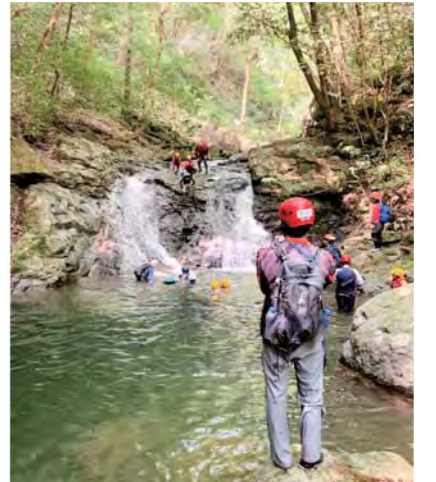
福山城の数々の活性化策を提案!



豪雨災害被災地の現地視察



ワイナリーのホームページもできました



経験を力に。滝を登る子供たちを見守る



山岳会の子供たちは雪山だって登ります



エフピコアリーナふくやまに完成した巨大なクライミング壁

エフピコ・リムの再生

昨年の「リムが閉店する」とのニュースには寝耳に水の人も多かっただろう。しかし、その後も、ロッツ、リムと3代連続の閉店は、リムが商業施設として相応しくないという結論を出したと言える。

枝広市長は昨年11月7日の定例会見にて「超スピード再生」させる考えを示し、2月13日の第6回福山駅前デザイン会議で、リム再生手法の基本的な考え方が望ましいとされた。まずは最小のコストにより低層階のみにぎわいの創出。その後のまちづくりの進捗を見極めながら次の展開を検討し、市民の意見を聴く機会を設けることだ。

私は「Team Challenge 100」という市民有志から提案を受け、市内各所に点在する老朽化した公的機関を集約してリムを合同庁舎として再生する案を議会で提案した。これにより市民の利便性の向



大田祐介 (福山市議会議員)

上、市役所と近接するメリット、リムの空き部分の利用促進と家賃収入、建て替えが検討されている施設の建築経費の節減と跡地の売却が可能となる。具体的には税務署、年金事務所、労働基準監督署、商工会議所、老人大学、国土交通省河川国道事務所、上下水道局、ハローワーク等が候補となり得る。

私も以前の職場で人事・労務管理担当者だったので、これらの役所を随分と回らせてもらった。退職者自身も各種手続きにおいて同様であり、ワンストップサービスが実現する意義は大きい。また前記役所の職員は遠距離通勤者も多く、老人大学の学生も福山駅から徒歩圏内であることは大きなメリットである。終業後に駅前一杯というケースも増え、駅前が賑わう事だろう。問題は、リムには窓が無いことだ。トイレ、階段、エレベーターを外壁に面して設置してあるため、採光窓がほとんど無く、労働者の精神衛生上よろしくない。そこで、建物中央のエスカレーターを撤去して吹き抜けとし、太陽光を採光してはどうかだろう。屋上は老人大学の学生により庭園や菜園とし、憩いの場とすれば良いと考える。

出発式 3月29日(日)9時～ 大田記念病院の北側駐車場(第4駐車場) 状況により中止の場合もございます。

総決起集会(予定) 4月2日(木)18時30分～ 会場:エフピコアリーナふくやま

【ご支援のお願い】ミニ集会の開催、ポスティング、挨拶回り、会社の朝礼等ご協力いただける方を募集しています。事務所までご連絡ください。議会活動は「ふくやま市議会だより」facebook「大田ゆうすけ事務所」経済リポート連載「祐介の目」をご参照ください。日々全力投球している様子をご確認いただけます。

独自の視点と論点で市民の皆様の声を議会に提案！ 大田ゆうすけ4年間の議会における主な言動

<議員の最も大切な仕事は議会で議論することです!> 初当選から16年、私のモットーは「提案型の質問をする」です。市政全般各方面について勉強し、質問し続けています。

	3月議会	6月議会	9月議会	12月議会	
平成28年	<ul style="list-style-type: none"> ■県境を越えた日本初の特区・備後ワイン・リキュール特区認定により、産学金官民連携によるワインプロジェクトの発足、ワイン列車の運行、ワインツーリズムの誘致を提案しました。 ■画期的コースであった福山マラソン「鞆の浦コース」の成果と課題、介護保険制度維持のため地域包括ケアシステム構築の方策を議論しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■包括外部監査の指摘を受けた非効率な公益財団法人（ふくやま芸術文化振興財団、福山市かなべ文化振興会、福山勤労福祉・文化振興会）の将来的な統合に繋げる議論を行いました。 ■子ども達の著しい読書離れを危惧して、読書教育の推進、あるべき学校図書館像、司書の配置、学校図書館補助員の増員を要望しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■歴史、文化、観光のまちづくりを主眼に置き、シーカヤックなど「海から見る鞆」の観光を提案、多くの貴重な文化財を保有する明王院や巨大な横穴式石室を誇る二子塚古墳（前方後円墳）の活用策、福山城築城400年に向けて復興天守閣を耐震補強するか木造再建するか？水野勝成公、阿部正弘公の顕彰について議論しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■決算委員会が11月開催では遅すぎると前倒し開催を提案し、債権回収・債権管理条例の適切な運用を求め、併せて市民に分かりやすい決算資料の作成を要望しました。 ■福山城の多言語対応案内表示の整備を実現しました。 ■熊本地震（宇土市）派遣職員の結果を福山市の災害対応に活かすよう求めました。 	平成28年
平成29年	<ul style="list-style-type: none"> ■福山大学から議員インターンシップを受け入れ、学生達と考えた政策提言を行いました。駅前に福山大学や老人大学を誘致する「駅前学園構想」、その通学手段として路面電車を整備し、駅前の地下送迎場は自転車駐輪場にしてはどうか？福山城には学生に侍の格好をさせて観光客を案内する、城から最も近い駅だから「福山城駅」に改名を提案し、賛否両論の大反響となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■福山-鞆の浦トライアスロンについて、コース設定や大会の成果と課題等を整理し、トライアスロンのまち福山の実現に取り組むよう求めました。 ■福山道路と沼隈道路の供用開始後、その先の鞆街道～産業道路を整備して、完成時期未定の福山道路（多治米～川口線）の代替路線となるよう提案しました。 ■成人式の日程を成人の日前日の午後で開催するよう提案し実現しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■福山ネウボラについて相談件数の目標と相談員の体制について質し、子育て支援拠点事業や医療機関との連携の促進、乳幼児医療費助成制度拡充を求めました。（H31より拡充） ■北朝鮮核ミサイルへの対応について、Jアラートへの対応や核シェルターの整備、国民保護法に基づく福山市独自の対応について真剣に検討するべきと訴えました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■歴史文化基本構想の策定において、多くの戦没者が祀ってある備後護国神社の慰霊碑を文化財に含めるよう提案しました。 ■市民病院において「命の贈り物」である臓器移植へ積極的に取り組むよう求め、入院時にドナーカード（免許証裏面）を確認することになりました。 	平成29年
平成30年	<ul style="list-style-type: none"> ■自動二輪通行止めのグリーンラインの通行規制の解除を提案し、多くのライダーの署名を集めて福山西署に提出した結果、33年ぶりに規制が解除されました。 ■医師会からの要望により議員提案にて「福山市子どもと妊婦を受動喫煙から守る条例」が全会派一致で制定されました。罰則規定はありませんが、これにより子どもの保護者、学校の教職員、妊婦に関わる病院職員等の一層の禁煙が進むことが期待されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■体育振興事業団、体育協会、青少年育成事業団が合併して半官半民の福山市スポーツ協会が誕生するにあたり、合併の目的、効果、協会の組織体制等を質しました。 ■福山マラソンで再度「鞆の浦コース」復活要望、グリーンラインマラソン大会、福山市独自のサイクリングコースを提案しました。 ■市営プール（竹ヶ端、丸の内）の老朽化に伴い新たな市営プールの建設について考え方を質しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■乳幼児等医療費助成制度の拡充について、医療機関への周知や予測される課題、財源確保策について質しました。 ■豪雨災害時の芦田川の治水上の課題、八田原ダムのゲート操作、芦田川河口堰のゲート操作の検証を求めました。 ■PFI協会の植田会長を招聘して勉強会を開催し、PFIのメリット・デメリット、他市町の取り組みについて学び、その後の中央公園パークPFI等の事業に繋がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■福山市民病院と備後圏域の公立病院との連携と支援について、井笠圏域からの救急搬送件数の増加や、地域医療連携推進法人制度を参考にして笠岡市立市民病院の支援策を検討するよう求めました。 ■移植待機者であった神原議員、死後に献眼をされた木村議員の遺徳をしのび、移植医療に対する理解を深めるよう保健所、医師会、学校教育において啓発するよう要望しました。 	平成30年
令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ■豪雨災害対策の今後5年間の総事業費見込みや、防災重点ため池ハザードマップの周知、未利用ため池の廃止、保水機能を備えた森林整備について質しました。 ■しまなみ海道につながる「鞆の浦しまち海道サイクリングロード」について鞆町・田尻町との連携を促しました。 ■芦田川河口堰の開放回数を増やす方策、塩害防止方法等について、自らの研究調査成果を発表しました。 ■山野・広瀬・加茂学区の学校再編、イェナプラン教育のメリット・デメリットについて質しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■メキシコオリンピックチーム、福山市は事前合宿として8種目を受け入れ、私は福山山岳会会長としてスポーツクライミングの合宿成功に尽力しました。 ■新総合体育館「エフピコアリーナふくやま」には高さ15mのクライミング壁が建設され、芦田川河川敷にできる「かわまち広場」に長年訴えてきたスケートボードパークの建設とジョギングコースのリニューアルが実現しました。東京オリンピックの正式種目にもなり、盛り上がること間違いなしです！なお、体育館とかわまち広場を結ぶ連絡橋も私が提案しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■手城川流域の浸水対策として100ミリ安心プランに登録したことにより、事業費120億円のうち半額国庫助成が受けられることになりました。 ■喉頭がん等により声帯を摘出しても気管食道シャント法により再び声を取り戻した方に公的支援策を求めました。 ■平和の祭典・ばら祭の開催目的が曖昧です。41連隊跡地である緑町公園で開催する以上、戦没者慰霊の気持ちを含めるべきでしょう。 ■中学校のクラブ活動の外部委託促進により教職員の負担軽減を提案しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■福山駅北口整備においてJR西日本が信頼できる事業パートナーであるか質し、福山の玄関口にふさわしい建物になるよう要望しました。 ■JRホテルについて市民が望む宴会場を備えたホテルとし、併せて福山駅に「福山城前」という副駅名を付けるよう提案しました。 ■モンゴルのムンフザヤ選手（女子マラソン）の合宿を山野町で受け入れ、大阪国際女子マラソンで12位に入りました。オリンピック（札幌）での活躍が楽しみです。 	令和元年



2016年インターン（福山市立大学・比治山大学）中学生たちと山野峡で自然体験、ぶどう収穫も体験



2017年インターン（福山大学）未来自治体コンテストの政策提案を検討中



2018年インターン（島根県立大学）グリーンライン二輪通行止めの現地視察



2019年インターン（広島大学・福山市立大学）鞆のまちづくりの課題について現地視察

